

地域活動支援基金活用事業

助成事業に13団体が申請

今年度も地域で活発な活動を展開

当協会では、地区衛生組織の実践活動を支援するために積み立てた地域活動支援基金を活用して、実践活動を資金的に支援する「環境と健康のコミュニティ活動助成事業」、学社融合の取り組み促進をねらいとした「環境啓発ポスター標語コンクール事業」の2つの事業を実施しています。

◆環境と健康の「ミニ」活動助成事業◆
公衆衛生推進協議会が実施している環境と健康をテーマにした「ミニ」活動に対し、今年度も「導入型」発展型「広域型」の3部門で助成を行います。「導入型」は新規に取り組む活動に限定、「発展型」は課題改善や創意工夫の見られる継続事業、「広域型」は事業を展開します。

導入型は、廿日市市佐伯公衛協が「健康づくりウォーキング」と題して、6月11日に開催した第2回地域活動支援基金運用委員会審査が行われ、実施。そのほか、北広島市、東広島市福富支部、世羅町黒川地区、福山市泉学区、神石高原町、三次市布野地区、広域型の大崎上島町公衛協は従来事業に改善を加えながら継続して実施します。これら13件について、

ウオーキングマップの作成と健康体操、歩き方の指導を行います。

◆環境啓発ポスター・標語コンクール事業◆
公衛協が学校を通じて、小・中学生から、ポスターおよび標語の作品を募集するもので、今年度で8年目を迎えます。今



平成26年度広島県公衆衛生大会の表彰

年度は、22公衛協から257校が参加予定で、まず各公衛協で第1次審査を行い、次いで当協会の選考委員会第2次審査を行った後、部門別に入賞作品を決定します。最優秀賞の受賞者は、12月10日の第56回広島県公衆衛生大会(サンスタールーム・坂町)にて表彰が行われます。また、入選作品は会場に展示するほか、当協会ホームページや情報紙等でも公開する予定です。さらにPRを支援するため、今年度も、事後フォロー活動に対する助成を継続します。申請のあった公

衛協に対し一律3万円と作品数に応じた上乗せ額が助成されます。

今年度は公衛協独自のフォロー活動も含めると、全ての公衛協(22団体)で事後フォロー活動を実施する予定で、地元で開催する祭りやイベントでの作品展示や表彰式の開催、優秀作品をクリアファイルに印刷して配布するなど、さまざまな活用と広報活動が予定されています。

今年度も、より多くの作品が集まるよう呼びかけ、地域の盛り上がりとして、事業のさらなる発展をめざしていきます。

(地域活動支援センター)

新理事長に佐藤均氏

環境協



理事長 佐藤 氏

6月27日に開催された第6回評議員会・第9回理事会において、執行部が改選された。このたびの改選は、近光章前理事長の退任に伴うもので、新理事長には広島県の代表監査委員などを歴任された佐藤均氏が選任された。

新理事長あいさつ

この度、8年間、当協会の発展に多大な貢献をされた近光章前理事長の後を引き継いで、一般財団法人広島県環境保健協会の第2代理事長に就任いたしました。

地域社会における公衆衛生、環境保全の向上に取り組んできた歴史と伝統のある当協会のかじ取り役に選任いただき、身に余る光栄であるとともに、責任の重大さに身の引き締まる思いをしております。公衛協をはじめとしてこれまで当協会の運営にご尽力いただきました皆さまに感謝申し上げますとともに、微力ではござ

いますが、当協会の発展のため全力で取り組んでまいりますので何卒、よろしく願っています。

現在、地域社会は、人口減少と超高齢化社会の到来、過疎化の進行、食の安全安心、医療費の増大、地球温暖化など、数々の課題を抱えており、当協会の役割はますます大きくなってまいります。今後とも、「みんなの生命(いのち)」をまもりたい」の基本理念のもと、公衛協の皆さまとともに、健康づくりと住みよい環境づくりに取り組み、地域社会の発展に貢献してまいります。

今後とも、ご指導、ご鞭撻を賜りますよう、よろしく願ひ申し上げます。

平成27年6月27日

きんせんか 琴線歌

広大な砂漠や海岸、あるいは都市をキャンバスとして、さまざまな素材で風景の中に巨大な作品を構築する「アースワーク」と呼ばれるアートが、1960年代後半から70年代にかけてアメリカを中心に起こった。

無限の時空と対話する作品のその背景には、商業主義や環境破壊、あるいはベトナム戦争など人間性の喪失と深くかわっていることが要因としてあった。古代文明

環境と人間とアート

より重要なものとなってきている▼さて本協会の事業「環境啓発ポスター・標語コンクール」は、広島県内各地の小中学生から年を重ねる度に多くの応募を頂いている。未来を担う子どもたちの純粋な気持ちに込め、よりよい地球環境を維持していくためにも、この活動が一層有意義で発展的なものとなることを祈念している。

(広島大学大学院教育学研究科教授 内田 雅三)



一般財団法人 ～みんなの生命(いのち)をまもりたい～

広島県環境保健協会

〒730-8631 広島市中区広瀬北町9番1号(広島県公衆衛生会館)

TEL:082(293)1511 [大代表] FAX:082(293)1520

かんぽきょう

検索

基本理念

～みんなの生命(いのち)をまもりたい～

私たちは、健康づくりと住みよい環境づくりに取り組み、地域社会の発展に貢献します。



脱温暖化センターひろしま 平成27年度事業計画

平成27年度は、次の4つを柱に実践活動を展開します。

①地球温暖化防止活動推進員の支援

温暖化防止に向けた情報提供や普及啓発活動、TEAMのマネジメントなどのリーダー的役割を担う「地球温暖化防止活動推進員」を養成する研修会を3回シリーズ(7月24日・8月25日・12月11日)で実施します。

また、既存推進員のレベルアップを目的に、次の5つの研修会を実施します。

■TEAM活動視察交流事業

7～12月にかけて各TEAMが実施する行事への視察交流を通じて、互いのノウハウや課題等を共有し、事業運営力の向上と活動の活性化を図ります。推進

員およびTEAM関係者を対象に実施します。

■省エネ診断員養成セミナー

家庭部門のCO₂削減に関心を持つ仲間を増やし、家庭での省エネ実践活動の拡大を図るため、当センターが開発した「広島版省エネ診断ソフト」を使って、効果的な省エネ対策を助言できる診断員を養成します。推進員、TEAMおよび公衛協関係者を対象に、2回シリーズ(1回目：7月3日(西部会場)・9月15日(東部会場)・2回目：12月21日)で実施します。

■学習会講師育成研修

IPCC第5次評価報告書の公表に伴い、広く国民に気候変動の情報を分かりやすく伝え、対策への興味を喚起していくことが必要とされています。そこで、学習会等で多くの人に情報



リーダー推進員研修は、技術力向上をねらいにプレゼンテーション技術について実践を交えて交流を深めた(上)。脱温暖化推進員フォーラムでは、推進員同士のミニプレゼンテーションをおして、伝え方・伝わり方に関するワークショップを実施した(下)

1万3550世帯が実績を報告

『見える化』で賢い消費者に

1万人のエコチェック事業は、県内の公衆衛生推進委員が、家庭において省エネ活動を実践し、

消費したエネルギーの削減効果を数値的に把握評価し、見える化することで、脱温暖化活動の基盤づくりを行うことを目的にスタートして、今年で6年目を迎えます。

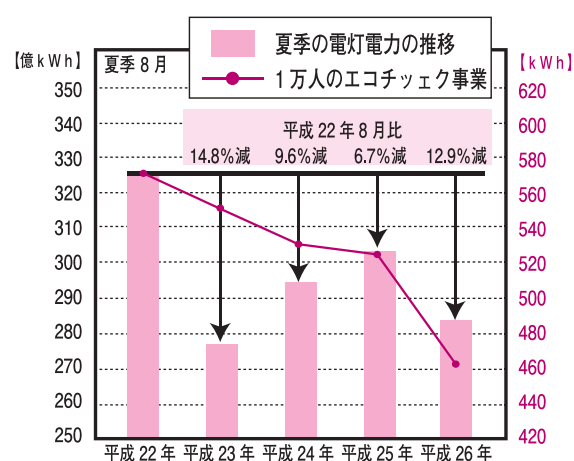
これまでの5年間で、1万3千550世帯に各家庭での省エネ取り組みの実績をご報告いただきました。電気事業連合会がまとめた家庭向け電力の使用量とエコチェック事業の実績(参加世帯の平均電気使

用量)を比較すると、その年の気温による変化はありますが、省エネが定着してきたことがうかがえます。

私たちが取り組む「省エネ」とは、「家庭の無駄なエネルギー利用をなくすこと」です。省エネを始めた1年目、2年目は大きな成果が出ます。しかし、無駄が少なくなると、成果は頭打ちとなります。ここで落胆せず、省エネを維持することが大切です。

「耐久家電の買い替え」「仲間を増やすこと」が挙げられます。耐久家電とは、冷蔵庫やエアコンなど複数年にわたって利用する家電製品などをいいます。例えば、冷蔵庫を5年以上利用している場合、今のまま利用し続けた場合の電気使用料と、買い換えた際の本体価格と電気使用料を計算して比べてみてください。買い換えた方が、省エネになり、家計的にも節約にもつながるケースがあります。次の取り組みとして、

- 過去5年間の夏季の電灯電力の推移(左)
(出典：電気事業連合会HP 電力需要実績)
○1万人のエコチェック事業の参加世帯あたり消費電力量の平均(右)



まり、消費者が上手に商品を選ぶことで省エネにつながる可能性があります。

さらに、仲間を増やすために、皆さまの取り組み成果や失敗を多くの人と共有しましょう。地域全体で取り組むこと

で、新たなライフスタイルが提案でき、新たな仲間を生みます。

1万人のエコチェック事業を通して、家庭の省エネと成果の見える化に取り組み、共に住みよい環境づくりを目指しましょう。

■脱温暖化推進員フォーラム2016

TEAMや公衛協関係者が互いの活動や課題等を共有し、今後の活動の方向性などを一緒に考えます。2月に実施する予定です。

②TEAMの活動支援

低炭素社会づくりを推進するためTEAMの組織強化を図り、活動経費を助成します。

また、ヒト・モノ・カネの視点でTEAMの現状を把握する「組織



新規推進員養成研修で、地球温暖化の最新情報を学ぶ参加者(上)、脱温暖化推進フォーラムで、IPCCレポート「コミニケーターから講義を受ける参加者(下)」

力診断をツールに、組織強化と活性化に取り組むほか、TEAM未設置市町では、設置に向けた取り組みを支援します。

③普及啓発・広報活動

県内各地で行われる環境イベントや情報紙、

④調査・研究活動

省エネの意識啓発とエネルギー使用量の削減を目的に、TEAM

当協会HP等を通じて、温暖化の現状やセンターの取り組み、TEAMの実践活動などの情報公開と共有を促進します。

また、温暖化の現状や対策の重要性を知ってもらい、ライフスタイルに合わせた省エネ活動の実践を推進するため、各地で学習会を開催します。

や地球温暖化防止活動推進員、公衛協と連携し「家庭のエネルギー使用実態の調査」に取り組みます。調査では、年間のエネルギー使用量や使用している給湯器暖房照明等のタイプ、省エネ設備の導入率などを調べ分析します。

また、家電をテーマに、買い替えや使い方の工夫等による省エネ成功事例を募集することにも、事例集を作成し、県民の省エネ取り組みの実践と拡大を促します。

(脱温暖化センターひろしま)

公衛協のPRや情報交流のきっかけとなるよう、市町公衛協会長に『わがまち』で力を入れている取り組みやその成果についてインタビューし、県内26公衛協の魅力をお伝えします。

我 がまちの 公 衛 協 ②



所 属：府中市公衛連
お名前：大上 利太
公衛協歴：16年目
会 長 歴：6年目
世 帯 数：17,551世帯
推進委員数：690人

関係者が『和やか』に協力

アドプト登録地点数1位

Q1 力を入れている活動

『住み良い環境づくりのために、みんなと共に生きていく街府中!』をスローガンに、不法投棄対策やごみ分別、地域清掃の推進に力を入れています。

中でも、『アドプトネット事業』は、快適で住み良い環境づくりを地域みんなで維持していくという思いのもと、住民が公園や水辺の土手、社寺、山地の道路周辺などの公共空間の「里親」となり、地域美化、清掃活動、里地・里山づくりなどを展開しています。

Q2 活動成果

家庭ごみの有料化に伴い、その是非や地域の美化活動、不法投棄ごみについて多くの議論が起きました。その際、アドプト事業を活用し美化運動を呼びかけました。現在では、市内71地区、65カ所を登録しており、県内で一番多くの活動を行っています。また、わが町



アドプトマップには、地点名と地図を収録。多くの方に活動をPRするとともに、協力を呼びかけるツールとなっている。

により親しんでもらうために、成果をまとめたアドプトマップを作製しました。

Q3 苦労した点と解決策

ごみ分別や地域清掃活動を進めるため、公衛連を知ってもらうことが課題でした。一斉清掃や水辺のウォーキングなどを市民に呼びけると共に、活動地点を公表しようと、「芦田川自然観察&ウォーキングマップ」を作製して、前述の「アドプトマップ」を収録し、公衛協事業の参加者や公民館などに配布しました。このマップは、多くの人に住み良いわが町を伝えるツールとして活用しています。

Q4 会長のモットー

「和やかに」を心がけています。わがまちを住み良いものにしていくというスローガンのもと、関係する皆さんが、和やかに協力していくことが、必要だと考えています。

(地域活動支援センター)

全県共通事業重点メニュー

積極的に活用し活動PRを

環境と健康をライフスタイルに

環保協では、公衛協活動の支援策として、環境づくり・健康づくり活動メニューの提案や、推進委員の養成・育成のための各種研修会の企画・運営等を行っています。今回は、「全県共通事業重点メニュー」について紹介します。活動メニューは、前年度と同様なので、積極的に活用し、活動PRや実践強化などに役立ててください。

環境づくりメニューは、「1万人のエコチェック事業」「1万人の食チェック事業」を展開します。

「1万人のエコチェック事業」

「1万人のエコチェック事業」は、全公衛協推進委員を対象に実施するもので、9月分の電気

使用料のお知らせにかかる期間に省エネに取り組む、その結果を電気使用量明細書などから把握・記録します。引き続き、全推進委員の50%以上の実践率を目標としています。

今年度は、前年度の実践率が50%を超えた公衛協が参加できる、「電気」「ガス」「ガソリン・軽油」など他のエネ

ルギー使用量も記録する「ステップアップ編」を新たに準備しているのので、積極的に活用してください。

また、成果を記録するエコチェックカードは、12月10日に坂町で行われる広島県公衆衛生大会で抽選カイドとして利用された後、協会で県内の成果をまとめます。

「公衛協発・ひろしま美化大作戦」

「公衛協発・ひろしま美化大作戦」は、自然の恩恵を持続的に受けられるよう、環境保全活動に取り組む総合的な事業です。今年度か

ら事業名を変更しました。取り組み内容は継続して、町内一斉清掃や花いっぱい運動、アドプト事業などに代表される「地域清掃・美化」、排油の有効利用や生活廃水学習、水辺教室に代表される「水質改善・水質保全」、不法投棄ごみ対策、竹林の伐採や間伐に代表される「里地・里山」の3つのテーマで実施します。これらのテーマで保全活動を展開し、その活動記録を広く公表して公衛協のPRにつなげます。



公衛協発・ひろしま美化大作戦の提供グッズの一例

○提供グッズ○



ナップサック



歩数計

○貸出グッズ○



ロードカウンター

公衛協発ウォーキング事業の支援グッズの一例



PR用ベスト



PR用腕章

今年度も、年度末に県内で実施された学習活動や清掃活動について、6月19日から25日までの強化期間は毎日、以降は毎月19日(食育の日)に定期的に記録します。エコチェック事業同様、実践率50%を目指して取り組みます。成果を記録した食チェックカードを用いて7月9・10日に開催される環境保健夏季大学

で抽選会を実施します。以上、4つの全県共通事業重点メニューには、それぞれ活動促進グッズを準備しています。各事業の詳細は、当協会HPをご確認いただき、公衛協のPRとともに、大いに活用してください。

「1万人の食チェック事業」

「1万人の食チェック事業」は、自らの食習慣の現状を把握すること、健康づくりに向けた食生活改善に繋げることを目的に、全公衛協推進委員を対象に、各自が食事で摂取した食品数をチェックします。6月19日から25日までの強化期間は毎日、以降は毎月19日(食育の日)に定期的に記録します。エコチェック事業同様、実践率50%を目指して取り組みます。成果を記録した食チェックカードを用いて7月9・10日に開催される環境保健夏季大学

「公衛協発ウォーキング事業」は、公衛協が中心となって住民の日常的な健康づくりに寄与するため、ウォーキングコースの設定や事業イベントを実施します。新規に事業を企画し取り組む「初めて実践コース」と既存の活動を支援する「継続実践コース」の2つを準備しています。

「公衛協発ウォーキング事業」

「公衛協発ウォーキング事業」は、公衛協が中心となって住民の日常的な健康づくりに寄与するため、ウォーキングコースの設定や事業イベントを実施します。新規に事業を企画し取り組む「初めて実践コース」と既存の活動を支援する「継続実践コース」の2つを準備しています。

今回は、太陽光発電の歴史と、太陽の光から電気を生み出すしくみについて紹介します。

太陽光発電は、今から約60年前の1954年に、米国で発明されました。日本でも1960年代半ばから灯台の電源などに使われてきました。オイルショック後の1974年のサン

熱になる前に電力として利用 20年以上現役稼働の例も

広島県の
再生可能
エネルギー

②太陽光発電のしくみ前編

シャイン計画から技術開発が本格化し、90年代初めから、導入目標や助成制度が始まり、本格的な普及が進んでいきました。

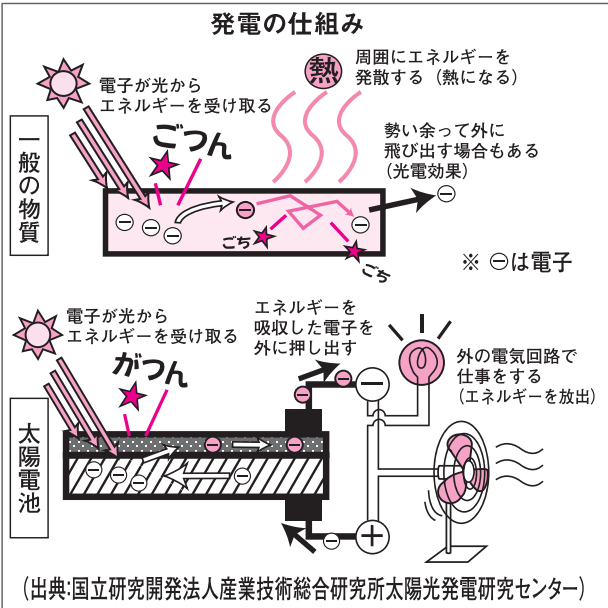
広島県内の本格的な太陽光発電としては、古くは1993年に中国電力(株)により広島広域公園に設置され、20年以上経過した今でも噴水用ポンプの電力として利用されているものがあります。

では、どうやって太陽の光から電気を作っているのでしょうか。光は大きなエネルギーを持っています。例えば、太陽の光に当たったアスファルトの道路が熱くなるのは、光が熱に変わっているからです。太陽光のエネルギーが熱に変わってしまう前に、半導体を利用して、電気的なエネルギー(電力)として取り出すしくみが「太陽電池」です。

ただし、「電池」というのも一般的乾電池や充電電池のように、電気を貯める(蓄電する)機能はありません。

太陽電池に光が当たると、電子が光のエネルギーを吸収します。この時、電子の動きが発生し、これが電気エネルギーとなります。これを「太陽光発電」と呼んでいます。

太陽光発電では、光から電力への変換は直接的かつ瞬間的に行わ



歯を支える組織(歯茎や歯槽骨)の病変、歯周病は、歯周病原菌の感染による生体応答によって、歯周組織が破壊される炎症性疾患です。この歯周病は口の健康に留まらず、全身の健康へ悪影響を及ぼすことが数多く報告されています。例えば、炎症時に増加する炎症マーカーCRPが高い糖尿病患者に歯周病治療を

施すと、CRPだけでなく糖尿病の指標であるHbA1cも改善した(Hiroshima Study, 2013年、広島県歯科医師会など、さまざまな疾患との関連性が指摘されています。全身疾患に影響を与えるさまざまなリスク因子の1つに歯周病が位置づけられ、全身疾患の予防・治療のために早期に歯周病を把握することが重要となると考えられます。

さて唐突ですが、「あなたは歯周病だと思いますか?」

昨年、広島県坂町総合健診でアンケート調査を実施した結果、297人中154人(51%)が「はい」と回答しました。

目頃の検診でセルフケア 口腔から全身の健康への悪影響も

サンスター株式会社 医薬品医療機器事業戦略企画部
研究開発室 野添 幹雄

9%が「わからない」と回答されていました。その後、歯周病原菌の調査した結果、検査結果が陽性の144人では、「はい」と回答した方が検査前の31.3%から検査後61.1%に増加しました(図1)。さらに、陽性の方で、検査前に歯周病だと思っていたけれど治療は受けていない方が、治療受診意欲に変化があるかを調査しました(図2)。その結果、「歯周病治療を受けたいと思うか?」との問いに、「既に受けている、受けたことがある」と回答された方が19人中9人(56.3%)となりました。今回の調査では、数も少なく、検査結果が直接、歯科医院受診につながったかは分かりませんが、受

調査した結果、検査結果が陽性の144人では、「はい」と回答した方が検査前の31.3%から検査後61.1%に増加しました(図1)。さらに、陽性の方で、検査前に歯周病だと思っていたけれど治療は受けていない方が、治療受診意欲に変化があるかを調査しました(図2)。その結果、「歯周病治療を受けたいと思うか?」との問いに、「既に受けている、受けたことがある」と回答された方が19人中9人(56.3%)となりました。今回の調査では、数も少なく、検査結果が直接、歯科医院受診につながったかは分かりませんが、受

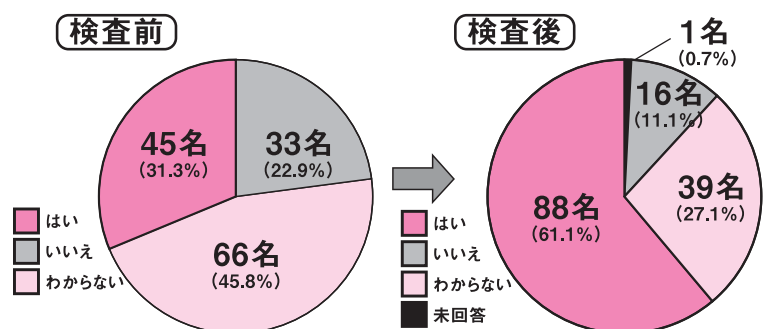


図1 「あなたは歯周病にかかっていると思いますか?」

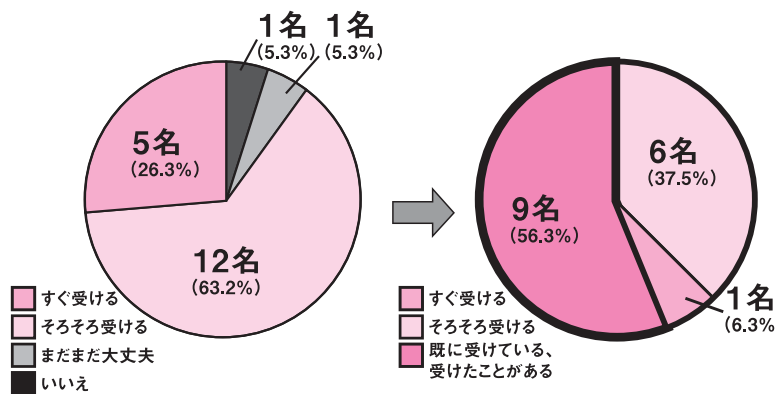


図2 「あなたは歯周病の治療を受けたいと思いますか?」

診意欲の向上あるいは行動変容に一定の効果があったと期待しています。歯周病は歯が抜ける

だけではなく、歯周病原菌などを介して全身に影響を及ぼします。日頃からの検診などを通じて、セルフケアでできる

疾患ですので、今回のように行動変容に繋がるアプローチは重要だと思われま



大竹市公衛協
【団体間協力と楽しい仕掛け】

6月7日、大竹市公衛協主催で、ひろしま「山の日」自然観察ハイキングが開催されました。この事業は、『第15回ひろしま「山の日」県民

BINGOで自然を楽しむ

「山の日」自然観察ハイキング



開会式の参加者(上)、BINGOを楽しむ参加者(下)

駐車場の折り返しおおよそ7キロのコースを歩きました。参加者は、自然観察BINGOカードを首にかけ、カードに書かれた植物を探しながらコースの新緑の自

然を楽しみました。また、参加者の名入りの『モーリーの参加証』の発行や撮影した記念写真をお礼状と一緒に送付するなど、ホスピタリティにひと工夫が光っていました。

佐伯隆会長は、「企画提案した自然観察ハイキングは、多くの市民と家族に参加してもらい、会場を盛り上げるとともに、相互の「ミニゲーショング」に効果があつたと思う」と振り返りました。

これからも、「ミニニティの交流につながる、さらなる活動に期待したい。」

(地域活動支援センター)



アスベスト含有建材。身近なものにアスベストが含まれている危険性がある。

身近に迫るアスベストの脅威

～ 正確な調査が、あなたの身を守ります～



アスベスト(青石綿・クロシロイト)

アスベストとは石綿(せきめん、いしわた)とも呼ばれ、熱、摩擦、酸やアルカリにも強く変化しにくいという特性を持つことから、建築材料などさまざまな工業製品に使用されてきました。しかし、2005年にアスベストが肺がんや中皮腫を発症する発がん性を持つことが問題となり、現在では製造・使用等が禁止されています。わが国には1

環境生活センター
業務紹介(2)
環境調査課



環境生活センター環境調査課は、煙道排ガス調査、簡易専用水道検査、騒音・振動調査、作業環境測定、アスベスト調査、シックハウス調査、悪臭調査等を行っています。その中で、以前ちまたで話題となったアスベスト調査についてご紹介します。



柱に吹き付けられたアスベスト含有建材

970～1990年に多くのアスベストが輸入されており、今後は大量に輸入・使用された時期に建てられた建物の老朽化に伴う建物の解体・改修が2020～2040年の間で増加すると推測されています。その建物の解体・改修時に正しくアスベストの調査・処理が行われないと、アスベストが飛散し、私たちの健康を脅かす身近な問題となります。

アスベスト調査とは、
①設計図書など資料参照や建物に使用されている建築材料の目視によるアスベスト使用の確認調査
②資料参照や目視でアスベスト使用が確認できない建築材料の機器分析によるアスベストの有無の調査
③解体・改修時のアスベスト除去に伴い、発生する空气中に飛散するアスベストの有無の調査があります。これらの調査は豊富な知識、経験及び設備が必要です。

(環境生活センター)

話題の健康づくり

アラカルト

⑦ 機能性表示始まる

4月1日から新しく「機能性表示食品」制度がスタートしました。

今までは、食品の機能性を表示できるのは、国が許可した「特定保健用食品(トクホ)」と国の規格基準に適合した「栄養機能食品」に限られていました。トクホは、健康の維持増進に役立つことが科学的

商品の健康情報を表示

賢く活用して健康づくりを

もので、科学的根拠が確認された栄養成分を一定の基準量含めば、国の定めた表現で機能性を表示できます。

一方、機能性表示食品は、国のガイドライン

す。対象となるのはサプリメント、加工食品、生鮮食品です。6月12日現在36商品が受理され、6月12日から順次販売されています。提出された情報は、消費

者の治療を目的にしています。あくまでも、健康の維持や増進を目的にしていることを忘れないでください。

機能性表示食品の目的は、「機能性をわかりやすく表示した食品の選択肢を増やし、消費者がそうした商品の正しい情報を得て選択できる」といったことです。機能性表示食品に限らず、食品にはそれぞれ特性があり、私たちの糧になてくれるので、いろいろな食品からバランスよく栄養を得ること、季節の恵みを大切に食

また、今の世の中、こうした食品の表示に目を向け、情報を読み取る目を養い、より上手に利用することも健康

根拠に基づいて認められ、表示されている効果や安全性は、国が審査し消費者庁が許可します。栄養機能食品は、不足しがちな栄養成分を補うために利用する

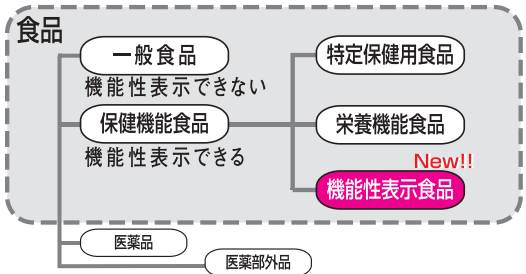
に沿った安全性や機能性に関するデータを消費者庁に提出し、受理されれば60日後に販売できます。企業の自己責任で表示でき、国の審査や許可は不要で

者庁のウェブサイトで公開されています。内容はメタボ予防、便秘改善、生活習慣病予防やスキンケア、目の健康維持などが主流です。これらの食品は、病

やすく表示した食品の選択肢を増やし、消費者がそうした商品の正しい情報を得て選択できる」といったことです。機能性表示食品に限らず、食品にはそれぞれ特性があり、私たちの糧になてくれるので、いろいろな食品からバランスよく栄養を得ること、季節の恵みを大切に食

また、今の世の中、こうした食品の表示に目を向け、情報を読み取る目を養い、より上手に利用することも健康

また、今の世の中、こうした食品の表示に目を向け、情報を読み取る目を養い、より上手に利用することも健康



健康増進課
管理栄養士 笠井 郁江



① 認知症を早期発見

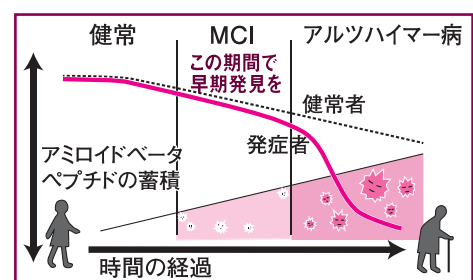
健康クリニックでは、『みんなの生命(いのち)を守りたい』という当協会の理念のもと、医療機関として、皆さまの健康づくりに役立つ医療情報を提供していく新コーナーを設けました。今後、医療・検診・福祉・予防などさまざまな視点で、生活にやくだつ情報をお届けしていきます。

このたび、健康クリニックではMCI(Mild Cognitive Impairment: 軽度認知障害)スクリーニング検査を導入しました。認知症患者の増加が社会問題となる一方で、早期発見および早期治療によって発症や進行を遅らせることが可能ともいわれ

ており、特に50才以上の方や認知症への不安を抱いている方、あるいはご家族が異変に気づいた場合などに受診をおすすめします。

【認知症の現状】

厚労省の調査(2012年)では、65歳以上の高齢者のうち認知症の人は15%で、462万人と言われています。さらに認知症予備軍と呼ばれる軽度認知障害(MCI)の人が13%、400万人いると言われています。この状況から、認知症の早期発見、早期治療が差し迫った問題となっており、特にMCI期での発見が重要なポイントです。



感度7割以上の血液検査

MCIスクリーニング

【MCIとは】

MCIは認知症になる前の段階で、日常生活は問題なく送っていますが、何もしなければ数年間で半数の人は認知症になる可能性があります。最近の研究では、MCIの段階で適切な治療を受ければ、認知症の発症を防いだり、発症を遅らせたりできることがわかっています。

【MCIスクリーニング検査】

認知症のなかで最も多いアルツハイマー病は、アミロイドベータペプチドが脳に蓄積し、神経細胞に障害を与えることが原因です。そこで、アミロイドベータペプチドに関連する血液中の特定のたんぱく質を調べます。これがMCIスクリーニング検査です。この検査によりMCIの可能性を調べることができます。検査は、1回10cc程度の採血による簡単なものです。7割以上の高い感度があります。

【検査結果が判ってから】

この検査だけでは、MCIの確定診断はできません。この検査で「疑わしい」と判定された方は必ず、専門の病院で2次検査を受けましょう。必要に応じて早期に治療を開始し、投薬、適切な運動、サプリメントの摂取などの指導を受けてください。

(健康クリニック 診療所長 武生 英一郎)

災害時の遊休井戸共助利用を支援 円滑な水質検査に向け県と協定締結

環 保 協

当協会は5月28日、大規模災害等で断水した場合の飲み水を確保するため、広島県と井戸水の水質検査の協力協定を結びました。

この協定は、災害時に、県・市町・環保協が連携して遊休井戸水等の水質検査を無料で実施するというもの。検査は、次の条件を満たした場合に実施します。(詳細は当協会HPを参照)

- ①遊休井戸等の設置者が、コミュニティの要請を受け、共助活動のために水源が開放できること
- ②被災した市町が、地域住民の負担軽減と衛生確保に資すると判断できること

当協会では、昨年の広島市の豪雨災害、平成22年の庄原市・世羅町豪雨災害、平成18年の広島県の水道用水供給事業における呉市・江田島市への送水施設崩落事故など、災害の度に無料の井戸水検査を実施し、飲料水の確保と地域住民の共助活動の推進を支援してきました。

この度の締結は、災害による混乱が想定される中、より迅速な対応ができるようにと検査体制づくりを呼びかけていたものが実現したもの。いざというときの地域住民同士の共助の推進、災害に強い地域づくりに役立てていただきたいです。



協定書を交わす健康福祉局笠松淳也局長(左)と近光章理事長



基礎研修に必要な項目や伝え方などを学び実践(上)、現場の下見を取り入れた実習を行い、安全管理のポイントを学ぶ(下)

専門研修は、いずれのコースも実習を交えて楽しみながら学べるように工夫しています。この機会に、ぜひ専門研修に参加してみませんか。

参加者からは「安全管理のポイントがわかったなどの感想がありました。」

環保協では、公衆衛生推進委員の力量形成および組織強化を図るため、年間を通じて各種研修会を企画実施しています。中でも「専門研修」は、あるテーマについての専門的な知識・技術の習得を目的に開催しており、「基礎研修の開き方」「野外活動安全

【野外活動安全管理コース】

6月2日(呉市安浦町)と4日(三原市本郷町)に、屋外で学習活動等を行う際の安全管理の考え方手法の習得を目的に開催し、5公衛協から27人の参加がありました。

専門研修始まる

知識・技術を習得

専門研修(広報・ツールづくりコース)

公衛協活動をPRしていくツールづくりのノウハウを体験を通して学ぶことで、広報担当リーダーの養成を行い、公衛協活動の活性化を図ることを目的に開催します。

- 西部会場 広島県公衆衛生会館 6階講堂
平成27年7月27日(月)10:30~16:00
- 東部会場 一財)広島県環境保健協会東部支所 3階会議室
平成27年7月30日(木)10:30~16:00
- 参加対象者
公衛協の事務や企画担当者、公衛協中堅推進委員育成事業の支援担当者など

※事業の詳細につきましては、市町公衛協事務局へお問い合わせください。

故岡田孝裕第4代理事を偲んで

去る5月13日、当会第4代理事長であった岡田孝裕氏が逝去されました。享年84歳でした。

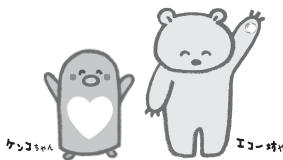
氏は、大和町長(昭和58年から平成11年)の現職の平成7年に、県衛連から発展的に創立された環保協の第1期の評議員にご就任され、2期4年(平成7年度~平成10年度)の間、評議員会議長を引き受けていただきました。氏は、大和町長を退かれた後、広大大学院で「地方自治体経営における『着実性』と『戦略性』に関する考察―広島県大和町のまちづくりを通して―」と題した論文を平成13年に執筆され、地域活性化の研究にまい進されました。

平成15年には、町長と当会評議員の経験と大学院での専門研究との縁により、第4代の理事長に就任されました。岡田第4代理事長は、行政的手腕はもとより、企業家としての両面の実力者であったことから、2期4年間、経営改革という視点で協会の多くの改革に精力的に取り組まれました。

理事長を退任された平成19年からは、理事・評議員として、公益法人改革による今日の「般財団法人広島県環境保健協会の発展にご尽力いただきました。

協会に対する多くのご功績とご尽力に心から感謝申し上げます。謹んで冥福をお祈り申し上げます。

平成27年度 地区衛生組織活動資金募集



通称

『環境・健康募金』

環境・健康募金(旧 健康感謝募金)は、昭和35年から実施し、平成27年度で56回目を迎えました。集まった募金は、募金委員会によって適正に配分され、各市町公衛協の活動資金として地域社会に役立てられています。

環境・健康募金
総額(円)
7,072,701

市町名	募金額(円)	達成率(%)
呉市	0	0.0
府中町	1,056,900	95.3
海田町	970,000	154.2
熊野町	0	0.0
坂町	0	0.0
江田島市	464,200	71.6
竹原市	0	0.0
大崎上島町	0	0.0
大竹市	0	0.0
廿日市市	2,569,840	161.7
廿日市市佐伯	0	0.0
廿日市市吉和	0	0.0
廿日市市大野	0	0.0
廿日市市宮島	0	0.0

市町名	募金額(円)	達成率(%)
安芸太田町	0	0.0
北広島町	0	0.0
安芸高田市	0	0.0
東広島市	0	0.0
三原市	1,075,260	49.0
世羅町	0	0.0
尾道市	446,900	13.9
福山市	0	0.0
府中市	0	0.0
神石高原町	0	0.0
三次市	422,704	35.7
庄原市	0	0.0
その他	66,897	—
合計	7,072,701	19.2

環境・健康募金の配分比率が変わりました。

<配分方法>	<配分金の使途>
市町公衛協配分金	目標額の70% + 突破額
環保協配分金	目標額の25%
事務費配分金	目標額の5%

※目標額は世帯数を元に設定

6月18日に開催された平成27年度第1回募金委員会で配分率の変更が決定しました。
市町公衛協配分金：目標額の65%+突破額 ⇒ 目標額の70%+突破額
事務費配分金：目標額の10% ⇒ 目標額の5%

事務費配分金の使途

- 募金PR用ポスター・チラシ・卓上のぼり、募金回収用封筒の作成
- 振込み手数料(公衛協事務局⇄募金委員会) など

市町別一覧表(平成27年5月末現在)

※この表は、平成27年5月末までに市町公衛協事務局から募金委員会に振込みのあった実績額を示しています。